

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●2025年度JRA賞年度代表馬はフォーエバーヤングが受賞

2025年度のJRA賞競走馬部門各賞は下記の通りとなりました。

- 年度代表馬……………フォーエバーヤング(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………カヴァレリッツォ(栗東・吉岡辰弥厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………スターアニス(栗東・高野友和厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………ミュージアムマイル(栗東・高柳大輔厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………エンブroidアリー(美浦・森一誠厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬…フォーエバーヤング(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬…レガレイラ(美浦・木村哲也厩舎)
- 最優秀スプリンター…サトノレーヴ(美浦・堀宣行厩舎)
- 最優秀マイラー……………ジャンタルマンタル(栗東・高野友和厩舎)
- 最優秀ダートホース…フォーエバーヤング(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀障害馬……………エコロデュエル(美浦・岩戸孝樹厩舎)
- 特別賞……………カラダガン(仏・F.グラファール厩舎)

●2025年度JRA賞調教師・騎手部門の受賞者決定

2025年度JRA賞の調教師部門は、杉山晴紀調教師(栗東)が最多勝利と優秀技術、木村哲也調教師(美浦)が最高勝率、矢作芳人調教師(栗東)が最多賞金獲得の各タイトルを受賞。騎手部門はクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が最多勝利、最高勝率、最多賞金獲得の三冠を達成して2年連続3度目となる「騎手大賞」に輝き、戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)がMVJ、小牧加矢太騎手(栗東・フリー)が最優秀障害騎手を受賞しました。また馬事文化賞は河村清明氏の『相馬眼が見た夢 岡田繁幸がサンデーサイレンスに刃向かった日々』(講談社)が受賞しています。

●鹿戸雄一調教師がJRA通算500勝を達成

1月4日(日)の1回中山1日・第7レースではバトルが1着となり、同馬を管理する鹿戸雄一調教師(美浦)は、現役26人目となるJRA通算500勝(延べ5238頭目)を達成しました。

●吉村誠之助騎手がJRA通算100勝を達成

1月5日(月)の1回京都2日・第5レースではタガノアルトゥーラが1着となり、同馬に騎乗した吉村誠之助騎手(栗東・清水久詞厩舎)は、現役90人目となるJRA通算100勝(1466戦目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JpnI 覇者のライトウォーリアとカジノフォンテンが引退

JRAで5勝後、川崎に移籍して2024年の川崎記念(JpnI、川崎)に優勝したライトウォーリア(牡9歳、父マジスティックウォーリア)は、12月3日の勝島王冠3着を最後に引退、青森県の荒谷牧場で種牡馬となりました。また、船橋でデビューし、2021年に川崎記念(川崎)、かしわ記念(船橋)とJpnI・2勝を挙げたカジノフォンテン(牡10歳、父カジノドライブ)も、12月10日の船橋記念5着をもって現役を退き、北海道のレックススタッドで種牡馬入りしています。

※現在の年齢を記載。

●ディオニスが金杯(水沢)を圧勝、重賞初制覇【各地の2歳重賞】

金杯(12月21日、水沢、1,600^円)は、4番手前後から4コーナーで抜け出した単勝1.3倍で圧倒的人気のディオニス(牡、父リオンディーズ)が7馬身差で圧勝。フォーマルハウト賞(11月30日、佐賀、1,400^円、牝馬)は、中団から追いついて直線入口で先頭に立った単勝1.6倍で断然人気のサキドリトッケン(父トウザワールド)が重賞4連勝を達成、このレース創設4年目で初めて地元馬が優勝しました。ジェムストーン賞(12月4日、大井、1,200^円)は、好発から2番手に控えた8番人気の伏兵ベイビークエスト(牡、父フィレンツェファイア)が4コーナー手前で逃げ馬を交わして優勝。ゴールドウィング賞(12月10日、名古屋、1,700^円)は、2番手から3コーナー手前で前を捉えた北海道から愛知への移籍馬アストラビアンコ(牡、父バゴ)が後続を4馬身引き離し、単勝1.4倍の支持に応えています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2025年のイギリス競馬統計～英愛首位種牡馬はナイトオブサンダー

2025年の英愛チャンピオンサイアーにナイトオブサンダー(2011年生まれ、父ドバウイ)が輝きました。G1英1000ギニーを制したデザートフラワー、G1プリンスオブウェールズSとG1インターナショナルS優勝のオンブズマン、G1デューハーストSに勝ったゲワンなどが英愛で活躍。獲得賞金686万5363^{ポンド}(約13億8680万円/1^{ポンド}=202円で換算。以下同じ)で、初の戴冠となりました。5月3日(英2000ギニー開催日)から10月18日(英チャンピオンズデー)までの期間で争われたイギリスの騎手はO. マーフィー騎手(30歳)が143勝を挙げて2019～21年、24年に続いて、2年連続5度目のチャンピオン。イギリスではリードアーティストでG1ロッキンジS、アスプオーラでG1ナンソーブS、ネヴァーソーブレイヴでG1シティオブヨークSと3つのG1を制しました。1月1日～12月31日を集計期間とするイギリスの調教師はアイルランドに拠点を持つA. オブライエン調教師(56歳)が獲得賞金811万8659^{ポンド}(約16億3996万円)で2001、02、07、08、16、17、24年に続いて、2年連続8度目の首位。イギリスではランボーンで勝った英ダービー、ミニエーホークの英オークス、ヨークシャーオークス、ドラクロワのエクリプスSなどG1・11勝を挙げました。